

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【公開番号】特開 2014-112910 (P2014-112910A)
 【公開日】平成 26 年 6 月 19 日 (2014.6.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-032
 【出願番号】特願 2014-12700 (P2014-12700)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 72/08 (2009.01)

H 0 4 W 72/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 72/04 1 3 3

H 0 4 W 72/08

H 0 4 W 72/12 1 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 9 日 (2014.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の加入者と送受信する基地局が OFDMA を用いたダウンリンクで加入者に対して複数のサブキャリアを有する、論理ユニットとして定義されるクラスタを割り当てる方法であって、

第 1 の加入者に少なくともあるサブキャリアが別のサブキャリアから周波数が離れた複数のサブキャリアを含む第 1 のクラスタを割り当てると同時に第 2 の加入者に連続したサブキャリアのみからなる第 2 のクラスタを割り当てるとともに、

前記第 1 のクラスタは、前記基地局が前記第 1 の加入者に第 1 の識別子を付与することによって識別されることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記第 2 のクラスタは、前記基地局が前記第 2 の加入者に第 2 の識別子を付与することによって識別されることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

OFDMA を用いたダウンリンクで複数のサブキャリアを有する、論理ユニットとして定義されるクラスタを割り当て複数の加入者に対して送信する基地局であって、

第 1 の加入者に少なくともあるサブキャリアが別のサブキャリアから周波数が離れた複数のサブキャリアを含む第 1 のクラスタを割り当てると同時に第 2 の加入者に連続したサブキャリアのみからなる第 2 のクラスタを割り当てるように設計されたコントローラと、

前記第 1 の加入者に対する前記第 1 のクラスタの割り当ての際に該第 1 のクラスタを識別する第 1 の識別子を付与するように設計された受信 / 送信回路とを備えることを特徴とする基地局。

【請求項 4】

前記受信 / 送信回路は、前記第 2 の加入者に対する前記第 2 のクラスタの割り当ての際に該第 2 のクラスタを識別する第 2 の識別子を付与するように設計されていることを特徴とする請求項 3 記載の基地局。

【請求項 5】

複数の加入者に基地局から各々複数のサブキャリアを有する、複数の、論理ユニットとして定義されるクラスタを OFDMA を用いたダウンリンクで割り当てる方法であって、

第 1 のクラスタを、第 1 の加入者に割り当てるクラスタを識別するとともに該第 1 のクラスタを構成するサブキャリアの所定の関係を示す第 1 のクラスタ識別子を付与して、第 1 のタイムスロット及び第 2 のタイムスロットにおいて割り当てるとともに、該第 2 のタイムスロットにおいて割り当てられる該第 1 のクラスタのうちの少なくとも 1 つのサブキャリアは該第 1 のタイムスロットにおいて割り当てられる該第 1 のクラスタに属するサブキャリアとは異なるものであり、該第 1 のタイムスロットにおいて割り当てられる該第 1 のクラスタのうちの少なくとも 2 つのサブキャリアは離れており、該第 2 のタイムスロットにおいて割り当てられる該第 1 のクラスタのうちの少なくとも 2 つのサブキャリアは離れており、

第 2 の加入者に連続したサブキャリアのみからなる第 2 のクラスタを前記第 1 のタイムスロット及び前記第 2 のタイムスロットにおいて割り当てることを特徴とする方法。

【請求項 6】

前記第 2 のクラスタは、前記基地局が前記第 2 の加入者に第 2 のクラスタ識別子を付与することによって識別されることを特徴とする請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

複数の加入者に各々複数のサブキャリアを有する、複数の、論理ユニットとして定義されるクラスタを OFDMA を用いたダウンリンクで割り当てる基地局であって、

第 1 のクラスタを、第 1 の加入者に割り当てるクラスタを識別するとともに該第 1 のクラスタを構成するサブキャリアの所定の関係を示す第 1 のクラスタ識別子を付与して、第 1 のタイムスロット及び第 2 のタイムスロットにおいて割り当てるとともに、該第 2 のタイムスロットにおいて割り当てられる該第 1 のクラスタのうちの少なくとも 1 つのサブキャリアは該第 1 のタイムスロットにおいて割り当てられる該第 1 のクラスタに属するサブキャリアとは異なるものであり、該第 1 のタイムスロットにおいて割り当てられる該第 1 のクラスタのうちの少なくとも 2 つのサブキャリアは離れており、該第 2 のタイムスロットにおいて割り当てられる該第 1 のクラスタのうちの少なくとも 2 つのサブキャリアは離れており、

第 2 の加入者に連続したサブキャリアのみからなる第 2 のクラスタを前記第 1 のタイムスロット及び前記第 2 のタイムスロットにおいて割り当てることを特徴とする基地局。

【請求項 8】

前記第 2 のクラスタを識別するために、前記第 2 の加入者に第 2 のクラスタ識別子を付与することを特徴とする請求項 7 記載の基地局。

【請求項 9】

前記第 1 のクラスタ及び前記第 2 のクラスタは、それぞれ前記第 1 の加入者及び前記第 2 の加入者のためのデータトラフィックチャネル用に割り当てられることを特徴とする請求項 1、2、5 又は 6 記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 のクラスタ及び前記第 2 のクラスタは、それぞれ前記第 1 の加入者及び前記第 2 の加入者のためのデータトラフィックチャネル用に割り当てられることを特徴とする請求項 3、4、7 又は 8 記載の基地局。